

台風第19号の課題への対応

台風第19号における課題への対応に係る当初予算

■ 目 的

台風第19号では、避難情報の周知、避難情報発令のタイミング、避難所の運営、避難所の不足など、様々な課題が浮かび上がりました。

そこで、現在進めている検証作業を踏まえ、次の対策を講じることといたしました。

■ 当初予算の概要

- ① 情報伝達手段の強化に係る経費 52,420千円【市費】
 - ・ 防災行政無線を適正に管理し、市民への確実かつ的確な情報伝達を図るとともに、防災ラジオの無償貸与（12月補正・繰越明許）、防災アプリ導入（3月補正提案・繰越明許）等による情報伝達手段の強化を図る。
- ② 避難所運営に必要な資機材や生活必需品の整備充実 9,635千円【市費】
 - ・ 市指定の避難所の備蓄物資等を充実し、迅速・的確な避難所の開設・運営に役立て、避難者受入れ対応の更なる充実を図る。
- ③ 災害時要援護者支援に係るシステム保守等に要する経費 1,091千円【市費】
 - ・ 登録者情報の管理、データ更新
 - ・ 避難支援等関係者への名簿提供
- ④ 防災講演会、Web版防災マップ保守管理等に要する経費 970千円【市費】
- ⑤ 水害時のバスによる広域避難訓練に要する経費 602千円【市費】
 - ・ バスによる広域避難の実効性を高め、災害時要援護など市民の逃げ遅れゼロを実現するために、バスによる広域避難訓練の規模拡大を図る。
- ⑥ 加須市・羽生市水防事務組合及び水防センターの管理運営に関する経費
 - ・ 利根川及び渡良瀬川の洪水等による被害の軽減を図る。 4,529千円【市費】
 - ・ 加須市・羽生市水防事務組合及び水防団等の運営、活動支援
 - ・ 大利根水防センター及び合の川水防センターの管理負担金支払い及び施設の管理
- ⑦ 自主防災組織の組織率及び訓練実施率の向上支援 8,542千円【市費】
 - ・ 市民の避難誘導など、災害時の地域防災力の更なる充実・強化を図るため、自主防災組織の設立に必要な支援の強化を図る（令和2年2月1日現在、設立済組織数は150団体、未設立の自治協力団体数は21団体）。
 - ・ 自主防災組織設立・自主防災組織の資機材整備・自主防災訓練に係る補助
 - ・ 自主防災組織リーダー養成講座に係る経費